

CISMOR リサーチフェロー研究会

教会は誰のためのものか ーキリスト教、ジェンダー、セクシュアリティー

日時：2020年12月12日（土）13:00～15:15

会場：Zoom

コーディネーター：朝香知己・藤原佐和子

従来の男性支配的な神学とそれに基づく諸教会、諸伝統は、性差別（セクシズム）、異性愛主義（ヘテロセクシズム）をはじめとする様々な抑圧的側面を維持してきた。こうした事実は「すべての人々」に解放をもたらすイエス運動のメッセージと相反するのではないかという問いは、今日、現代キリスト教を研究する上で欠くべからざるものとなっている。本研究会では、キリスト教におけるジェンダー／セクシュアリティの諸問題を主たる専門領域とする若手研究者による3つの研究発表を手がかりに、「教会は誰のためのものか」の問い直しを試みる。

■プログラム

13:00-13:05 ご挨拶 アダ・タガー・コヘン教授（CISMOR センター長）

趣旨説明

13:05-13:30 藤原佐和子

「世界教会協議会（WCC）における『女性の按手』をめぐる議論」

13:30-13:55 朝香知己

「性的マイノリティと按手」

13:55-14:20 工藤万里江

「アルトハウス＝リードの『下品な神学』ークィア神学の一例としてー」

14:20-14:30 休憩

14:30-14:45 コメント 水谷誠教授（同志社大学）

14:45-15:15 全体討議

■コメンテーター

水谷誠（同志社大学神学部教授）

■発表者

工藤万里江（立教大学大学院キリスト教学研究科博士課程後期課程）

朝香知己（CISMOR リサーチフェロー、同志社大学神学部嘱託講師）

藤原佐和子（CISMOR リサーチフェロー、同志社大学神学部嘱託講師）

（以 上）